

JEP工法協会 会員

小野田ケミコ株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
TEL.03-6386-7044 FAX.03-6386-7033

東興ジオテック株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-7
TEL.03-6436-4290 FAX.03-6436-4299

ライト工業株式会社

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35
TEL.03-3265-2589 FAX.03-3265-3402

株式会社アウラ・シーイー

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町4-47
TEL.045-306-9534 FAX.045-306-9538

株式会社アクアガード

〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台9-3-12
TEL.045-832-0166 FAX.045-350-4864

東成産業有限会社

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町3963-1
TEL.045-937-0961 FAX.045-937-2342

株式会社ニチワ

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町31-1
TEL.03-3469-4881 FAX.03-3469-6881

林六株式会社

〒541-0056 大阪府大阪市中央区南船場4-11-28
TEL.06-6262-3914 FAX.06-6120-9525

ライオン・スペシャリティ・ ケミカルズ株式会社

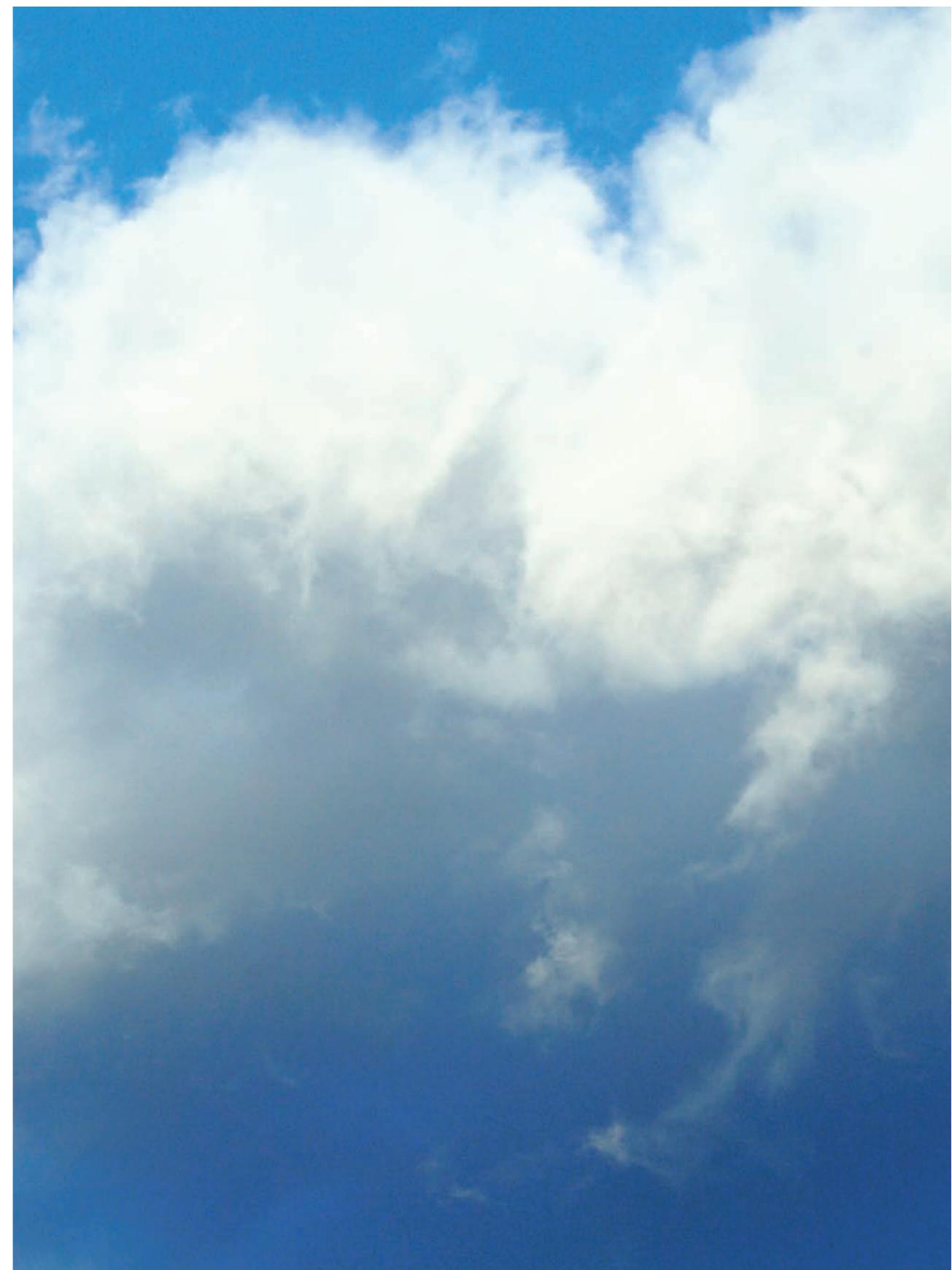
〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7
TEL.03-3621-6671 FAX.03-3621-6557

JEP工法

三重管式大口径高压噴射搅拌工法

NETIS登録番号 (旧SK-100012-VE)*

JEP工法協会



■ お問い合わせは下記にお願い致します。

JEP工法協会

事務局

〒102-8236 東京都千代田区九段北4-2-35 ライト工業株式会社内
TEL.03-3265-2589 FAX.03-3265-3402

大口径で経済的・高品質な改良体
様々な施工条件に適応する高圧噴射搅拌工法

JEP工法

特長

1 大口径の改良体

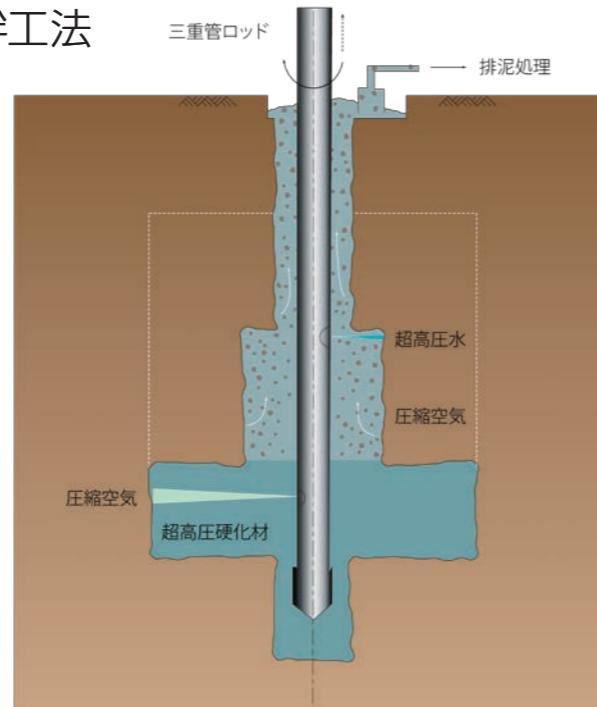
専用の噴射装置および大容量の硬化材噴射(300L/分)により、大口径の改良体が造成可能です。(最大 ϕ 4.0m)

2 低コスト・工期縮減

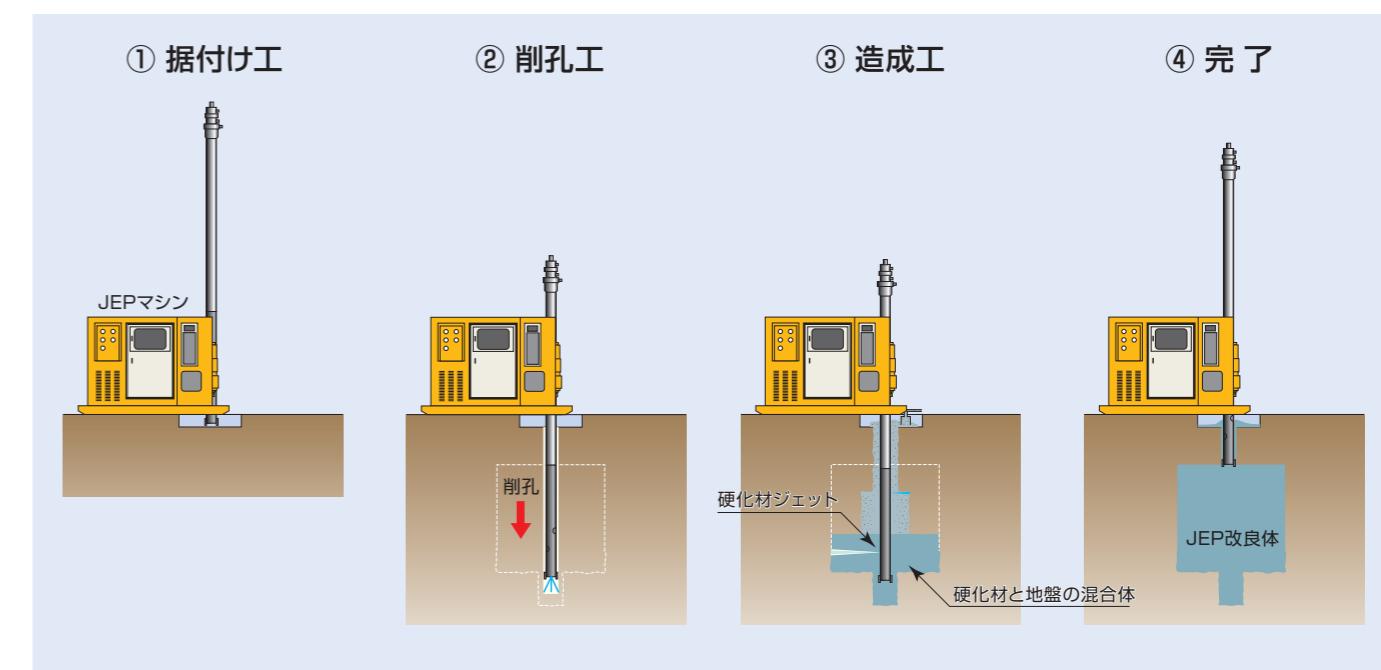
大口径の改良体が造成可能であるため、施工本数が縮減し、コストおよび工期の縮減が可能となります。

3 変位影響の低減

三重管システム(三重管ロッドを用いて硬化材・水・エアーを独立して噴射)の適用により、施工時の変位影響を低減することができます。



施工順序

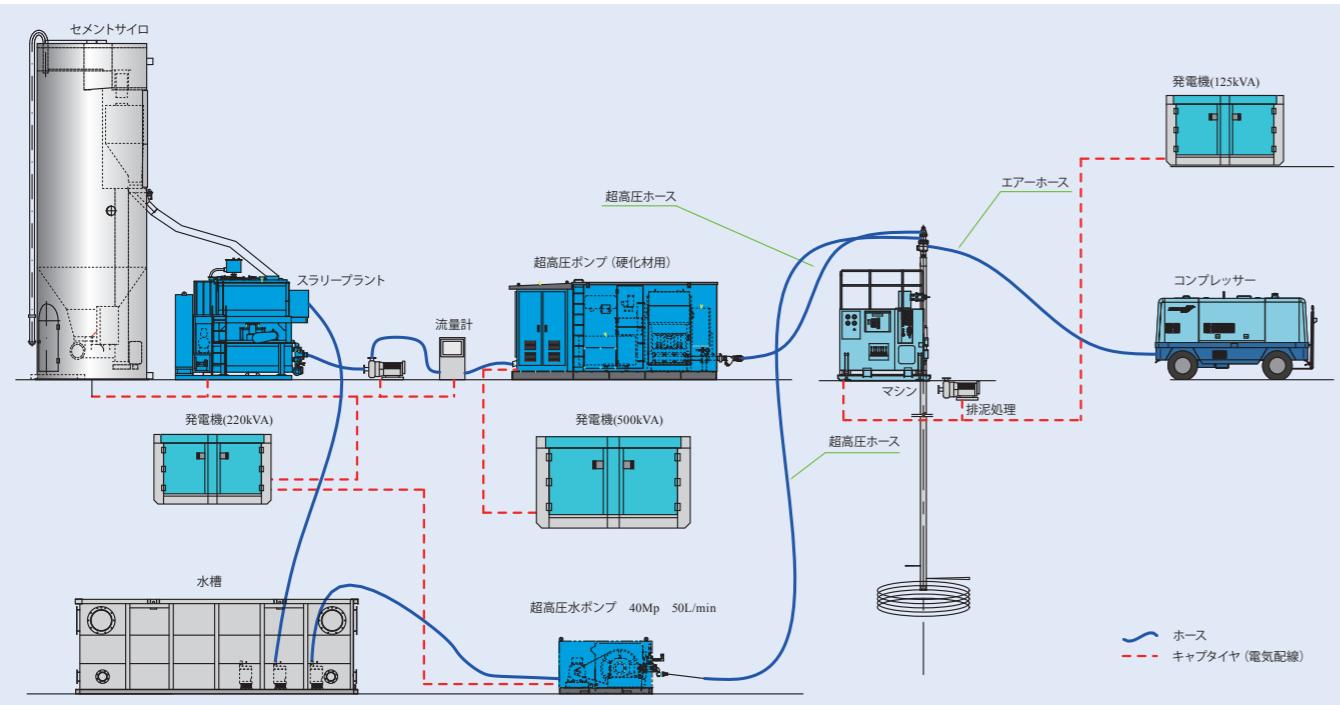


噴射仕様

名 称	使用材	標準施工仕様		
上段 超高压ジェット	水	吐出圧力	40MPa	
		吐出量	50 ℥/分	
下段 超高压ジェット	硬化材	吐出圧力	40MPa	
		吐出量	300 ℥/分	
圧縮空気		吐出圧力	0.7~1.05MPa	
		吐出量	4~15m³/分	



施工システム



適用条件

適用土質と標準設計有効径

設計引上時間	設計N値 および 設計粘着力 c			
	0 < N ≤ 30	30 < N ≤ 50	50 < N ≤ 100	100 < N ≤ 150
0 < c ≤ 20	20 < c ≤ 35	35 < c ≤ 50	50 < c ≤ 70	
13分/m	3.7	3.5	3.2	3.0
16分/m	4.0	3.7	3.5	3.2

標準配合

区分	JEP硬化材 (標準用)	JEP硬化材 (低強度)
固化材	760 kg	550 kg
混和材	10 kg	10 kg
水	751 kg	816 kg

* 固化材の比重値により、水量が変化する場合があります。

改良体の設計標準数値

硬化材	土質	設計強度 q_u (MN/m²)	粘着力 c (MN/m²)	付着力 f (MN/m²)	曲げ引張強さ σ_c (MN/m²)	変形係数 E_{so} (MN/m²)
JEP硬化材 (標準用)	砂質土	3.0	0.5	$\frac{1}{3} \times C$	$\frac{2}{3} \times C$	100× q_u
	粘性土	1.0	0.3			
JEP硬化材 (低強度)	砂質土	1.5	0.3			
	粘性土	0.5	0.15			

